

新しい公共支援事業の成果等報告  
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1. 成果等報告

モデル事業名	安心居住の拠点となる『寄合い処』まちづくり事業
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 <input type="checkbox"/> 震災支援枠 (該当するものにチェック)
事業実施主体名	墨田区 一般財団法人都市防災研究所
実施期間	平成23年9月26日～平成25年3月29日
支援額 (注釈参照)	11,000,000円 (人件費：7,244,608円、使用料及び会場借料：45,620円、講師謝金：90,222円、委託費：433,000円、印刷製本費：143,940円、旅費：53,610円、建物工事費：2,989,000円)
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	・東向二四地区まちづくりを考える会は、町内会を中心とする組織として事業の中身を検討する主体として作業を進めた。墨田区耐震補強推進協議会(以下、耐震協とする)は実際の改修診断、計画、設計、までの技術的な面でのサポートを行った。早稲田大学長谷見研究室と東京大学生産技術研究所加藤孝明研究室;新しい技術である防火改修の技術的な評価、設計等に関する技術指導を行った。(NPO)すみださわやかネット、(NPO)長寿安心会:福祉面からの支援、アドバイスをを行った。(一財)都市防災研究所は全体コーディネート、墨田区役所に関しては全面的な支援を行った。
事業概要	老朽化した木造建築物の不燃化、耐震化の促進と安全・安心に住み続けることの出来るまちを目指し、NPOや地縁組織、行政等が協力し、地域の福祉・相談機能を担う『寄合い処』社会実験を通じて、地域防災力を強化する『寄合い処』の具体化を図るとともに、モデル事業を墨田区全体に広げるための中間支援・資金調達の仕組みを立ち上げる。
事業内容	①モデルとなる「寄合い処」まちづくり事業の実施 <寄合い処を運営する組織の立ち上げ> ・H23年度は地元町内会との協力関係のもと、懇話会を4回開催し寄合い処のイメージ共有を図った。講師によるレクチャーや先進地への視察を行った。 ・H24年度は町会女性部メンバーを中心に寄合い準備会を結成し、寄合い処の運営や体制面、活動について検討を進めた。また、寄合い処周知のためのイベントの企画、運営を行い、3月にオープンした。 <寄合い処設置場所の改修整備> ・建物の選定、所有者との賃貸借契約を行い、耐震協の協力のもと耐震診断、設計、施工を行った。 ②『寄合い処』まちづくり事業を推進する支援組織の立ち上げ ・寄合い処事業を推進する支援組織の設立を進め、3月にNPO法人の認証を得た。 ③モデル事業の支援方策の検討とすみだ絆ファンド(仮称)の立ち上げ ・資金調達スキームとして寄付と融資の組み合わせモデルを考案し、地元金融機関との協力関係のもと低利、無担保の融資を実現させた。寄付は法人、個人から広く募ることを目指し、3月から募集を開始した。

得られた成果 及び自己評価	<p>寄合い処の建物は構成団体である大学の技術的指導のもと、墨田区耐震補強推進協議会が全面的に協力し改修整備を行った。耐震診断、設計、施工の一連のプロセスを専門家と区民が協力して進めたことで、技術者の人材育成やノウハウの蓄積、意識啓発が図られた。また、建物の改修を一部ガラス張りにし見える化したことで、不燃化、耐震化のための啓蒙と情報発信の場として整備することが出来た。また、協賛を行った企業は10団体を超え、その結果、最新の防火・耐震化技術を導入した施設となっただけでなく、企業側の寄付など前向きに獲得できる可能性が広がった。</p> <p>寄合い処の運営については、初期段階から町内会と丁寧に関係性を築いてきたことで、地元での信頼性を高めた。地元ベースに横のつながりが広がり、社会福祉協議会や保育園、介護関連の組織や子育て支援のNPOなど、協力関係が増えつつある。</p> <p>目指していた防災と福祉の連携についても寄合い処づくりのプロセス段階から協力しあうことで、建設業団体と町内会がよい関係性を築くことが出来た。防災と福祉が結びつくという、新しい地域社会のコミュニティづくりが生み出された注目すべきチャレンジと成果であるといえる。</p>	
評価ラ ンク		<input checked="" type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価にレを付けてください。)

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

## 2. 添付書類

事業の実施内容及び実績に関する報告書